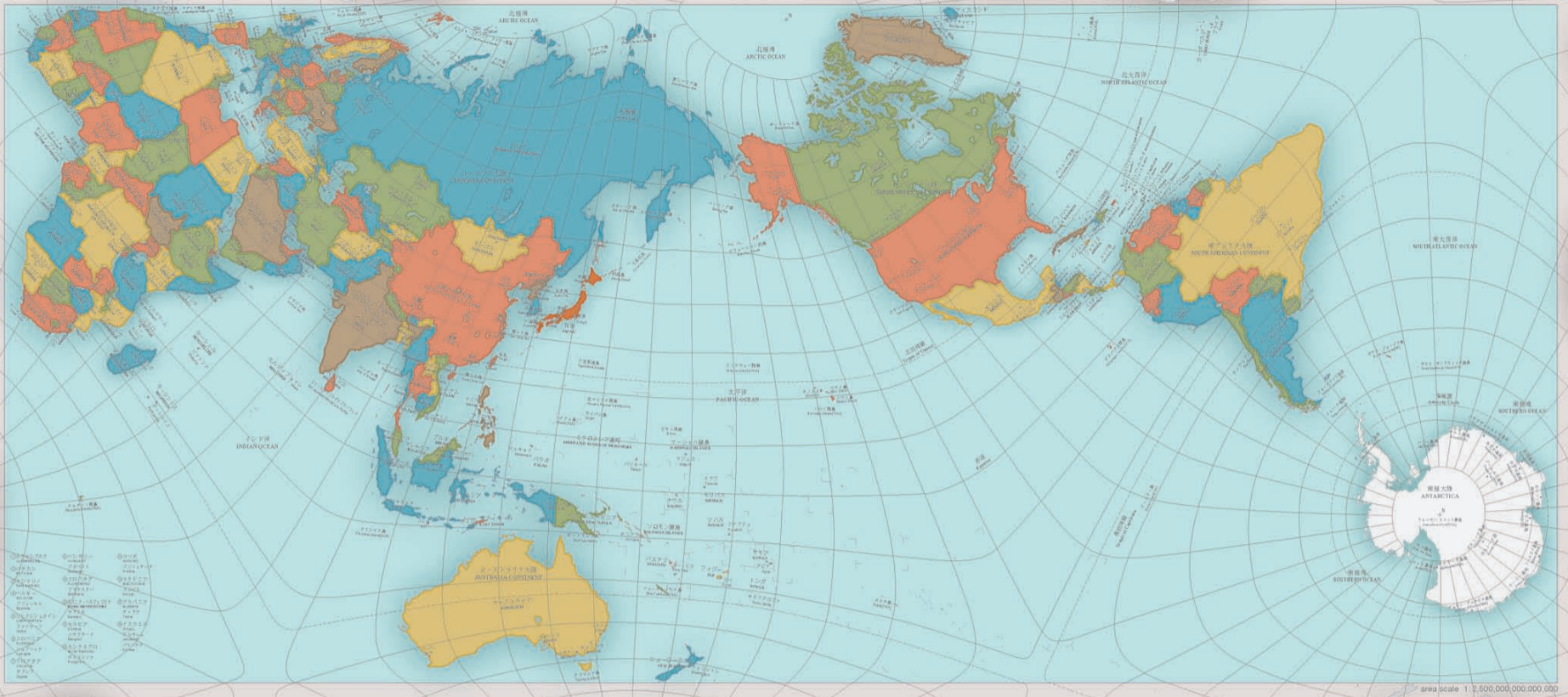


AuthaGraph World Map

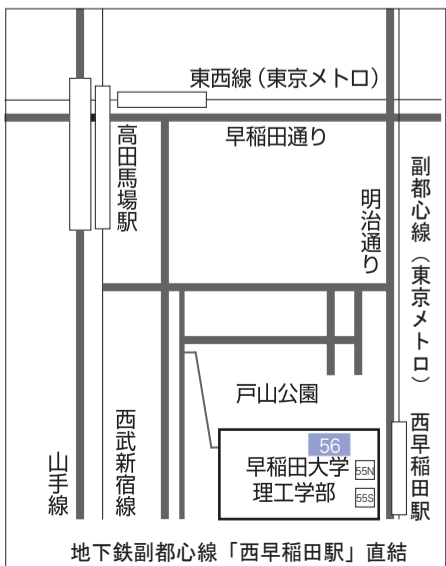
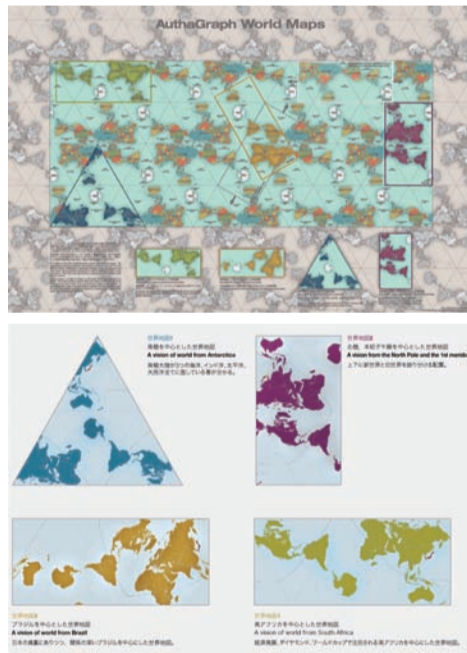


設計演習A 特別講義

全方位と全経緯を長方形におさめる

オーサグラフとは三次元の球体を、面積比を保ちながら二次元の長方形に投影する方法です。この方法でつくられたのが、“球体”である地球を、均等に歪みを分散しながら“平面”に移しかえることに成功した、「オーサグラフ世界地図」です。

多くの人が見慣れているメルカトル図法の地図は、16世紀後半の大航海時代に生まれたもの。高緯度になるほど面積が拡大され、特に南極や北極の形が極端にゆがむなどの欠点がありました。しかし、オーサグラフ世界地図では、地球上の陸地と海域の面積比をほぼ正確に長方形の中に収めることができます。講演ではこの地図をどうやって作ったか、それを用いてどういう世界観が新たに作り出せるかについてお話いたします。



2012年10月31日(水) 15:00-18:00

早稲田大学 理工学部キャンパス 56-102

開場：14:30 開場 / 15:00 開始

定員：当日先着 300人 入場無料

主催：
早稲田大学建築学科後藤春彦研究室・中谷礼仁研究室

講師：鳴川 肇 / NARUKAWA Hajime
1971年生まれ。

建築家・構造家。芝浦工業大学、東京芸術大学およびベルラーヘ・インスティテュート・アムステルダムの修士課程を卒業。アーネム建築アカデミー講師、佐々木睦朗構造計画研究所を経て、2006年にNAL設立。2009年にAuthaGraph株式会社を設立。

コーディネーター(設計演習A担当教員)：
後藤春彦、中谷礼仁、石川初、福島加津也